

PRESS RELEASE

報道機関各位

令和 7 年 6 月 2 日

神戸市立医療センター中央市民病院では、神戸市民の救急医療を支えるため GE ヘルスケアのコマンドセンターを活用し 救急病棟の患者受入の改善に取り組んでいます

神戸市立医療センター中央市民病院（病院長：木原康樹、以下「神戸中央市民病院」）は、神戸市の基幹病院として市民の生命を守る「最後の砦」としての役割を担い、医療 DX の推進に積極的に取り組んでおり、その一環として、GE ヘルスケア・ジャパン株式会社（以下「GE ヘルスケア」）との二人三脚により、病院内のさまざまなデータをリアルタイムで可視化する同社のコマンドセンターを「ボリュームコントロールセンター（VCC）」と命名し活用することで、病床運営の効率化を図り、患者中心の質の高い医療を提供し、「断らない救急」を実現しています。

【背景と課題】

神戸中央市民病院は、高度な医療を提供する地域の中核病院であり、救命救急センターは厚生労働省の評価で 2014 年から 11 年連続全国 1 位を獲得しています。一方で、地域の医療ニーズに応え続けるべく、病床管理の効率化による新規入院患者の受け入れ拡大が求められていました。従来はベッドコントローラーが各病棟を巡回し状況を把握する必要があり、時間と労力がかかっていました。また、他の病棟の状況が見えない中で公平感を持ちつつ緊急入院を積極的に受け入れるのは容易ではありませんでした。

【導入後の成果】

VCC 導入後は、毎朝 15 分間の「朝のベッドの会」を実施。リアルタイムで病棟の空床状況や看護師の繁忙度、患者の重症度などを VCC の画面で確認できるようになり、迅速な意思決定が可能に。この業務プロセス変革と運用病床数の変更等との相乗効果により、2023 年 10 月～12 月と 2024 年同期間の比較で新入院患者数は 8.8%増加、特に救急病棟では 16.3%増と大きな成果を上げました。また、病棟間の情報共有が進み、看護師の応援体制も公平に構築され、チーム力の向上にもつながっています。

神戸中央市民病院 病院長の木原康樹は次のように述べています。

『当院では、「断らない救急」を実現するため、救急入院患者に対する病床確保が積年の課題となっていました。そのために、医療情報システムに蓄積されるデータを随時引き出して加工し、病院運営の「現在」を可視化するシステムを求めていました。GE ヘルスケアとシステム開発プロジェクトを始めて以来、当院の運用に則した画面開発をオーダーするとともに、当院内においても、データがリアルタイムに表示されることによって実現可能となる新たな体制の構築を検討し、改善を加えてきました。

この開発プロジェクトを通して、医療情報の 2 次利活用の有用性を改めて認識し、引き続きこのようなデータ利活用基盤を用いた DX に取り組んでいきたいと考えています。』

『今回、GE ヘルスケアと議論を重ねながら VCC のタイル画面を作りこんでいく過程で、当院の病床管理に関する考え方がさらに整理されました。また、タイルを見ながら『朝のベッドの会』を行う、このことは救急患者のスムーズな受け入れに繋がるだけでなく、院内の状況を共有し自部署の状況をオープンにすることで、協力しながら病床運営を行うことに繋がっています。今後は、ここで得たデータを病床再編成や、予約入院の仕組みに活用し、更なる発展につなげたいと考えています。』

『神戸中央市民病院様との連携において、VCCを通したリアルタイムデータの活用が救急病棟の新入院患者数の増加につながったことを非常に嬉しく思います。この成果は、医療現場の効率化と医療サービスの質の向上に寄与するものであり、地域医療の発展に貢献すると考えております。今後も、革新的な技術とデータ分析を駆使し、医療現場のニーズに寄り添った医療ソリューションの提供に取り組んでまいります。』

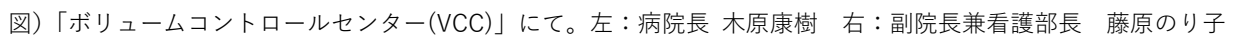


図)「ボリュームコントロールセンター(VCC)」にて。左：病院長 木原康樹 右：副院長兼看護部長 藤原のり子



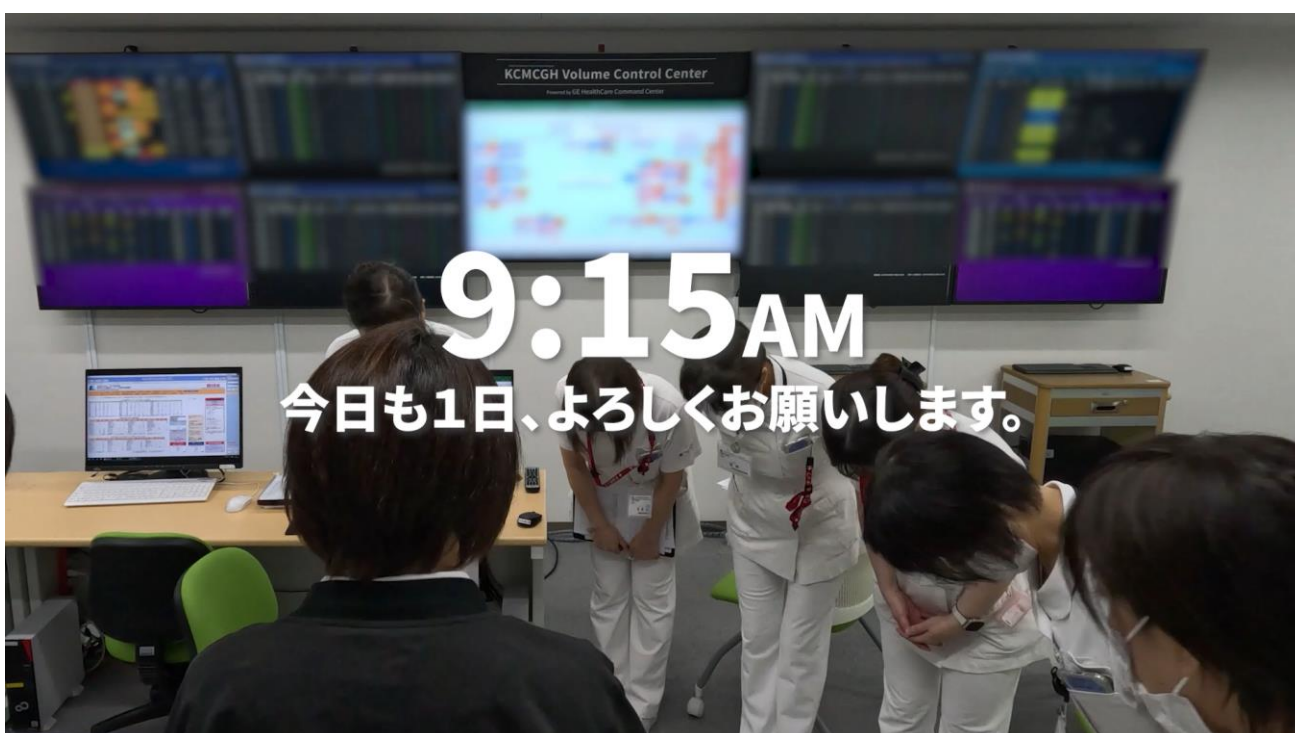


図)「ボリュームコントロールセンター(VCC)」におけるモーニング・ハドル（朝のベッドの会）の様子

神戸中央市民病院について、

2024年に創立100年を迎えた神戸市の基幹病院。厚生労働省が発表する「救命救急センターの評価結果」11年連続となる第1位の評価を獲得しています。

また、NPO法人日本医療教育プログラム推進機構の実施する「2024年度 基本的臨床能力評価試験（2024 GM-ITE）」において、3年連続となる総合成績第1位（全国453施設中）の結果を出すなど、日本屈指の救命救急センターであると共に、若手医師が切磋琢磨し成長する環境が整備された市民からも医療従事者からも選ばれる病院です。

GEヘルスケア・ジャパンについて

GEヘルスケア・ジャパン株式会社は、GEヘルスケアの中核拠点の1つとして1982年に創設されました。予防から診断、治療、経過観察・予後管理までをカバーする「プレジジョン・ケア」の実現を目指し、インテリジェント機器やデータ分析、ソフトウェア、サービス等を提供しています。国内に研究・開発、製造から販売、サービス部門までを持ち、日本のお客様のニーズにお応えしつつ、日本が直面する医療課題の解決に取り組んでいます。日本における社員数は約1,700名、本社および60カ所の事業拠点があります。

詳細はホームページ www.gehealthcare.com をご覧ください。

<本件に関するお問い合わせ>

神戸市立医療センター中央市民病院

事務局 情報企画課 山口 喜田

TEL：078-302-4321

GEヘルスケア・ジャパン（株）

コーポレート コミュニケーション

TEL：0120-202-021